

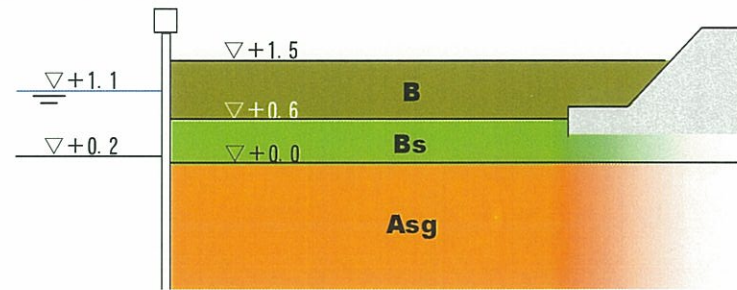
実施計画（A 区間）を作成する上での参考資料

（実施者）国土交通省 霞ヶ浦河川事務所

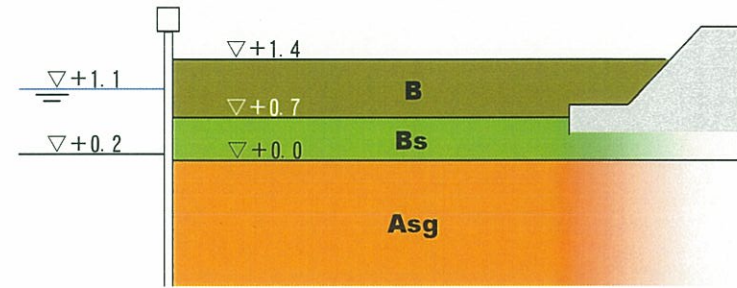
○置換砂の敷設について

- ・ 浚渫土仮置きヤードの浚渫土の性状を把握するため、粒度組成分析および地質構造分析を実施した。(分析結果は、右図参照)
- ・ A区間中央付近 (No. ②) の浚渫土は、表層 0.85m (Y.P.+0.65) までで、更に下層の Y.P.+0.0m の埋め戻し土まで、中央粒径が約 0.1mm 程度の非常に細かい砂である。矢板切断にあたっては、No. 4 の中央粒径が 0.15mm 以上のものに置き換える必要がある。
- ・ A区間南端付近 (No. ③) の浚渫土は、表層 0.70m (Y.P.+0.7) までで、更に下層の Y.P.+0.3m の埋め戻し土まで、中央粒径が約 0.1mm 程度の非常に細かい砂である。矢板切断にあたっては、No. 4 の中央粒径が 0.15mm 以上のものに置き換える必要がある。
- ・ B区間北側 (No. ④) の浚渫土は、表層から 1.5m 層までは、中央粒径が 0.15~0.17mm 程度の細砂であることから、この砂を A区間の矢板切断箇所の置換砂として用いるものとする。
($d_{50}=0.16\text{mm}$ の安定勾配は、約 1/26 程度。)

A地区 (No. ②)



A地区 (No. ③)



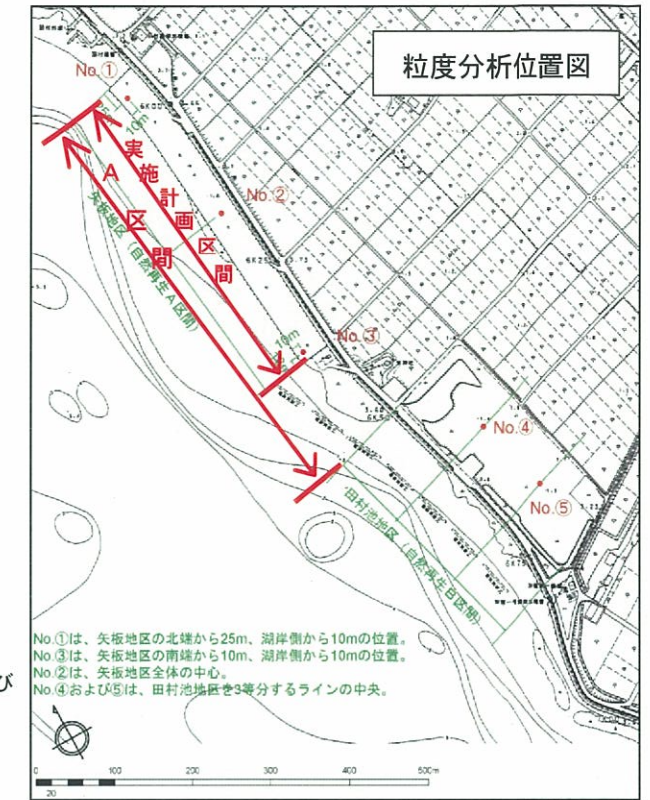
凡例 B: 浚渫土、Bs: 埋め戻し土、Asg: 沖積砂・砂礫互層

地質断面模式図 (No. 2, 3)
ハンドオーガーによる簡易ボーリングの結果を基に作成。

- ・ 表層から約 0.85m (Y.P.+0.65) までは、シルト主体で、ヘドロ臭もすることから浚渫土とした。
- ・ 表層から 0.85m~1.5m (Y.P.0.0~+0.6) は、No.2 の柱状図と別途近傍で実施されたボーリング調査の柱状図※1も踏まえて判断すると、粒度が不均一な中砂からなっているため、埋め戻し土とした。
- ・ 表層から 1.5m 以深 (Y.P.0.0~) は、砂層と礫層の互層とした。

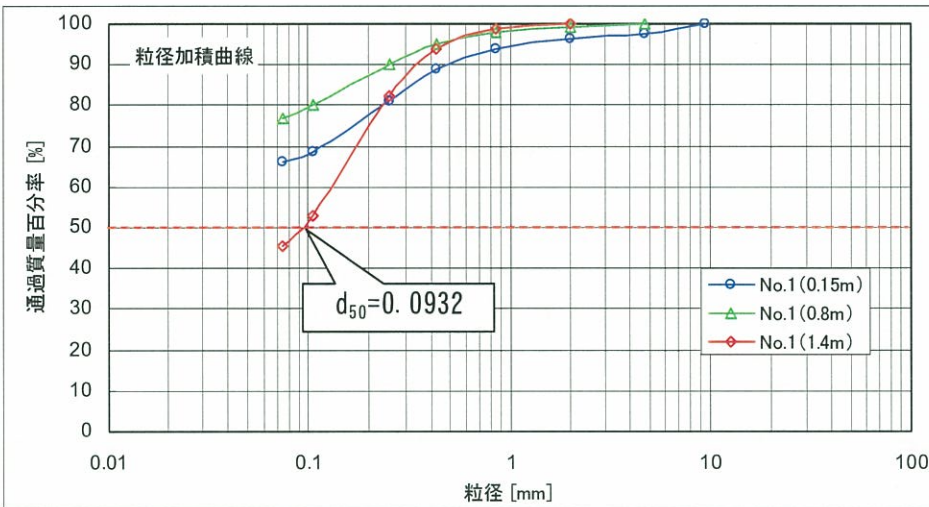
- ・ 表層から 0.7m (Y.P.+0.7) までは、シルト主体となっており、ヘドロ臭もすることから浚渫土とした。
- ・ 表層から 0.7m~1.4m (Y.P.0.0~+0.7) は、No.3 の柱状図と別途近傍で実施されたボーリング調査の柱状図※1を踏まえ総合的に判断して、埋め戻し土とした。
- ・ 1.4m 以深 (Y.P.0.0~) は、砂層と礫層の互層とした。

※1:平成14年田村地先外1箇所工事用測量及び土質調査(国土交通省霞ヶ浦河川事務所)

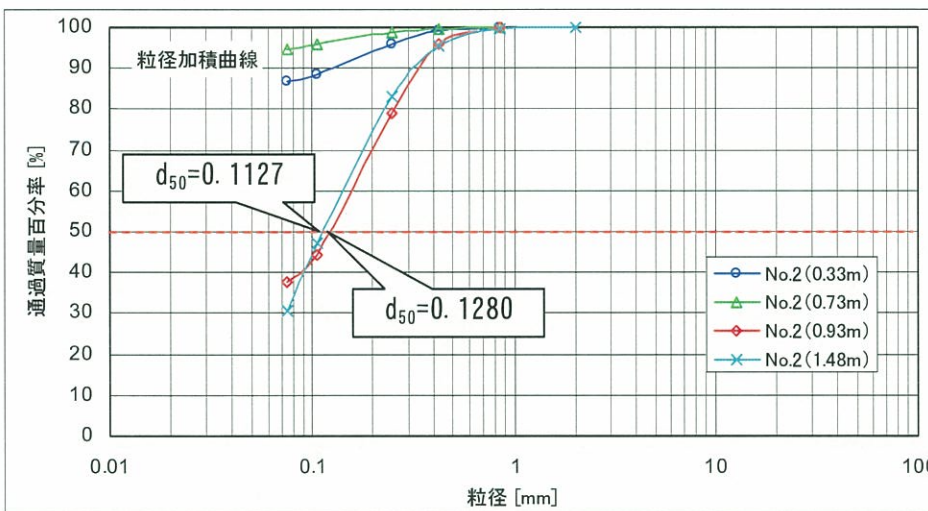


No.①は、矢板地区の北端から25m、湖岸側から10mの位置。
No.②は、矢板地区の南端から10m、湖岸側から10mの位置。
No.③は、矢板地区全体の中心。
No.④および⑤は、田村池換砂機3等分するラインの中央。

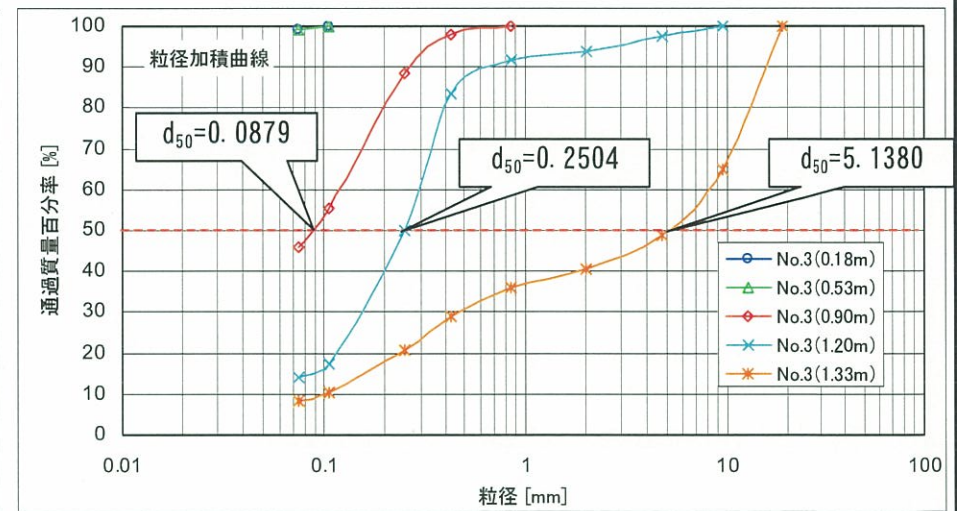
A地区 (No. ①)



A地区 (No. ②)

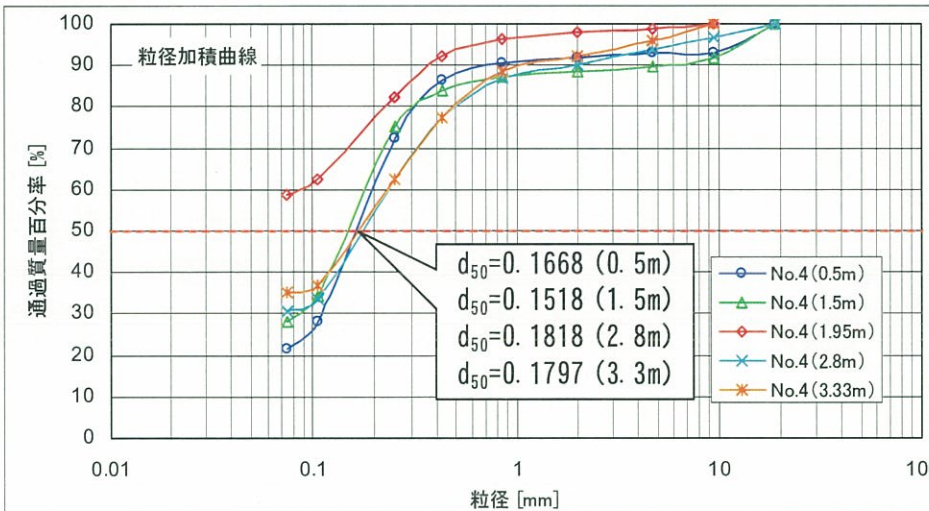


A地区 (No. ③)

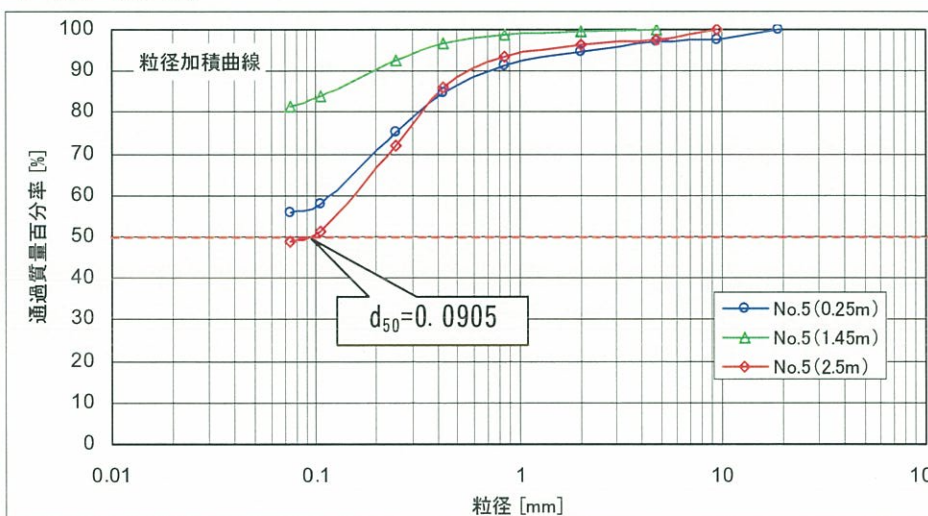


※ () 内の数値は、検体の採取深さを示す。

B地区 (No. ④)



B地区 (No. ⑤)



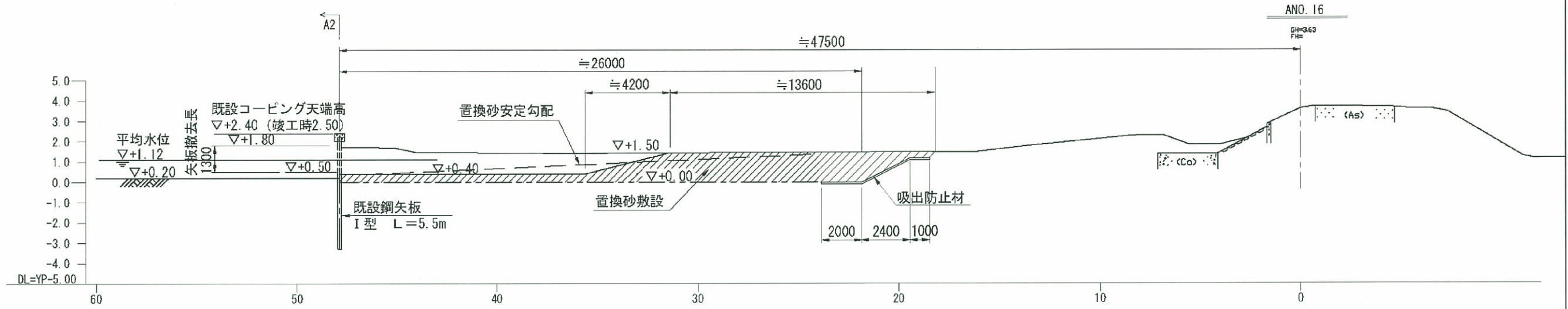
		0.005mm	0.074mm	0.42mm	2.0mm	5.0mm	20mm	75mm	
粘土	シルト	細砂		粗砂	中礫	粗礫			
		砂			礫				
細粒分		粗粒分							
土質材料									

粒径の区分と呼び名 (日本統一土質区分)

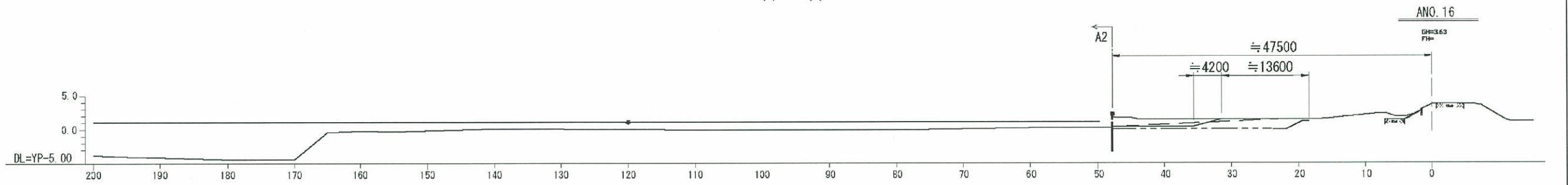
粒度組成分析結果 (平成18年8月調査)

A区間標準横断面図

標準断面図
A - A
S = 1 : 100
(S = 1 : 200)



全体横断面図
A' - A'
S = 1 : 300
(S = 1 : 600)



※置換砂の敷設深さは、施工時に現地の土質状況を確認の上、最終的に決定する。

※()内縮尺は、A3版印刷時の値である。

工事名	
図面名	A区間標準横断面図
年月日	平成 18 年 月
尺度	図示 図面番号
会社名	
事務所名	国土交通省 霞ヶ浦河川事務所

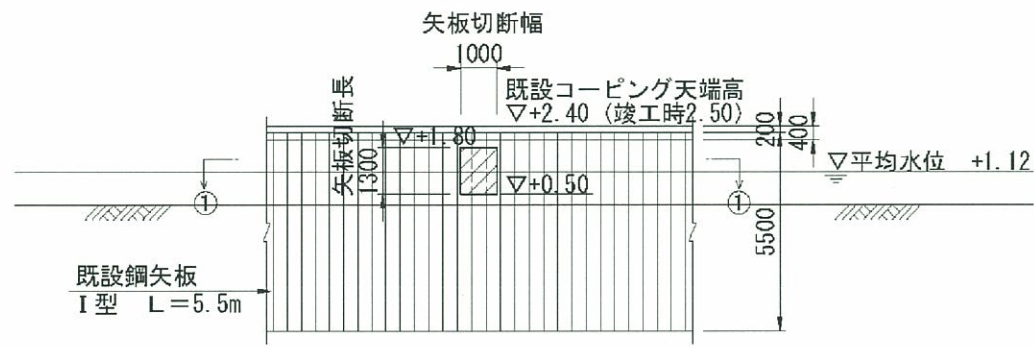
A 区間各部詳細図

(施工担当：国土交通省)

矢板正面図

S=1:100
(S=1:200)

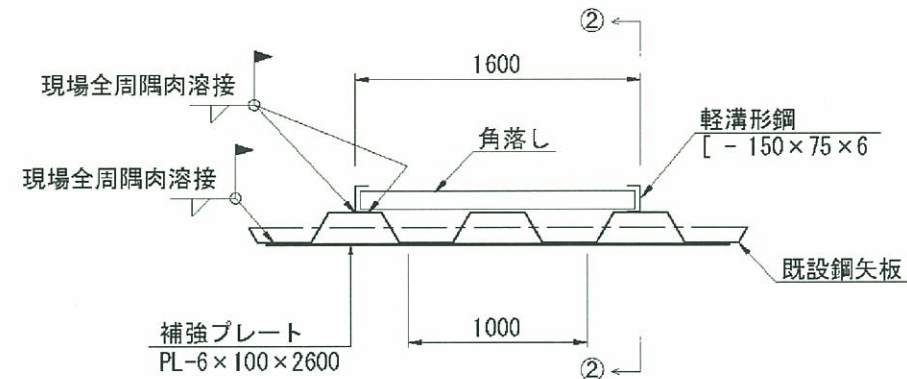
A2 - A2



角落し詳細図

S=1:20
(S=1:40)

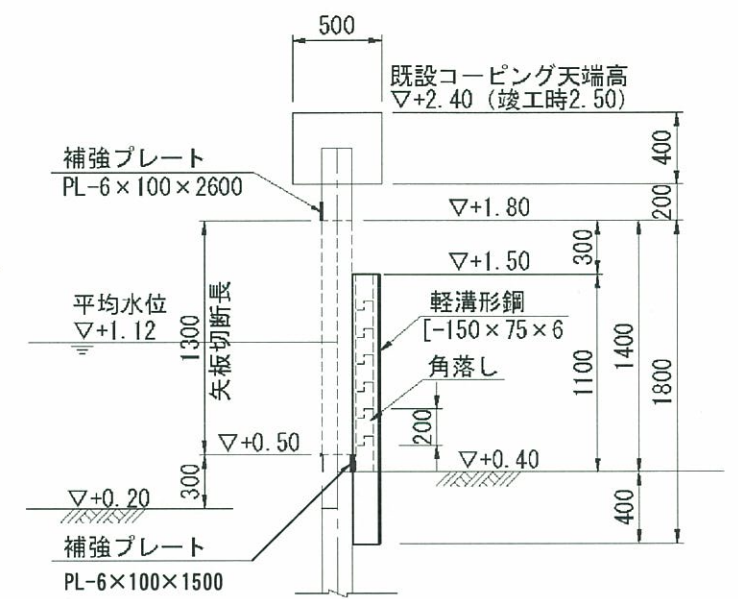
① - ①



断面詳細図

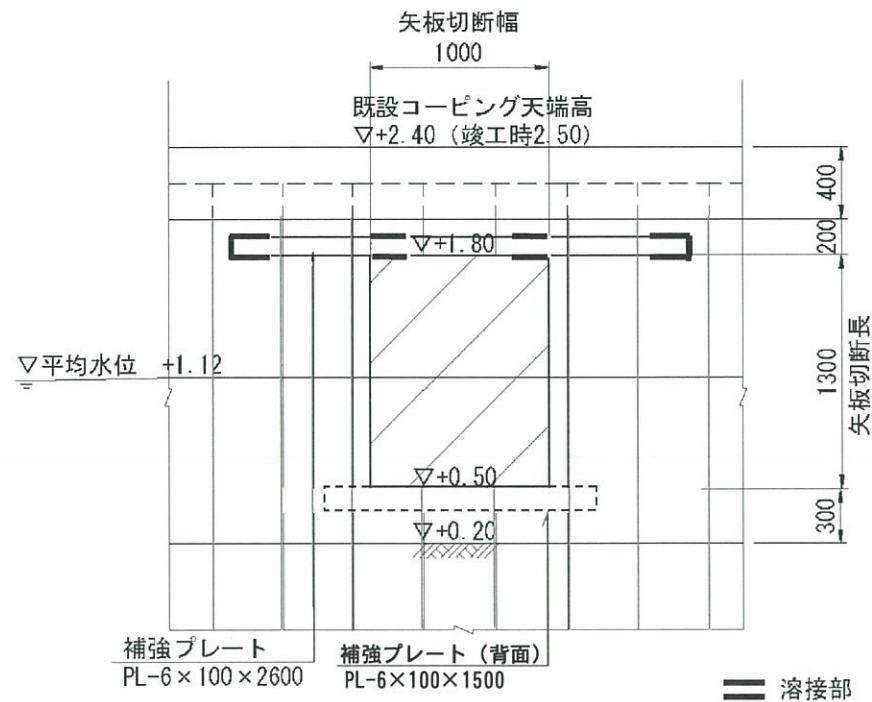
S=1:20
(S=1:40)

② - ②



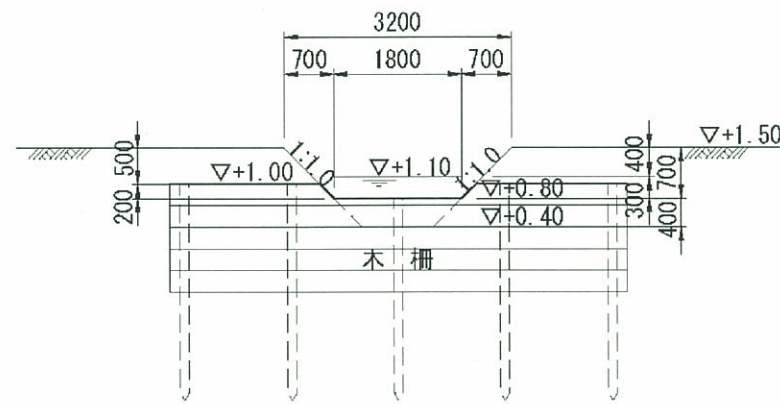
正面詳細図

S=1:20
(S=1:40)



水路接続部断面図

S=1:50
(S=1:100)



※ () 内縮尺は、A3版印刷時の値である。

工事名	
図面名	A 区間各部詳細図
年月日	平成 18 年 月
尺度	図示 図面番号
会社名	
事務所名	国土交通省 露ヶ浦河川事務所

水路断面図

(施工担当：公募委員) S=1:100

